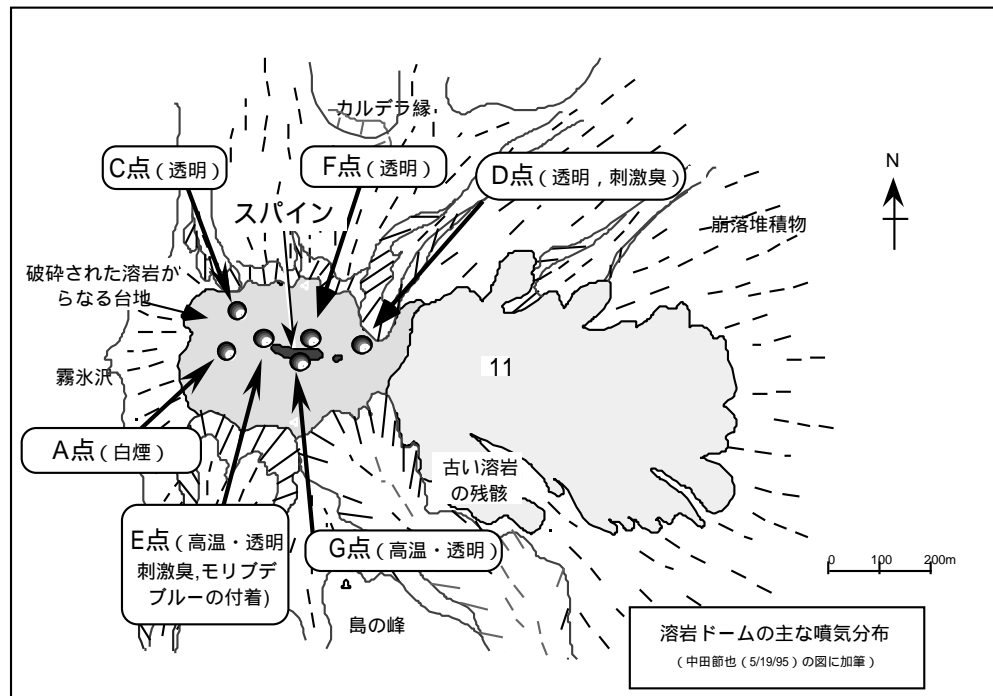
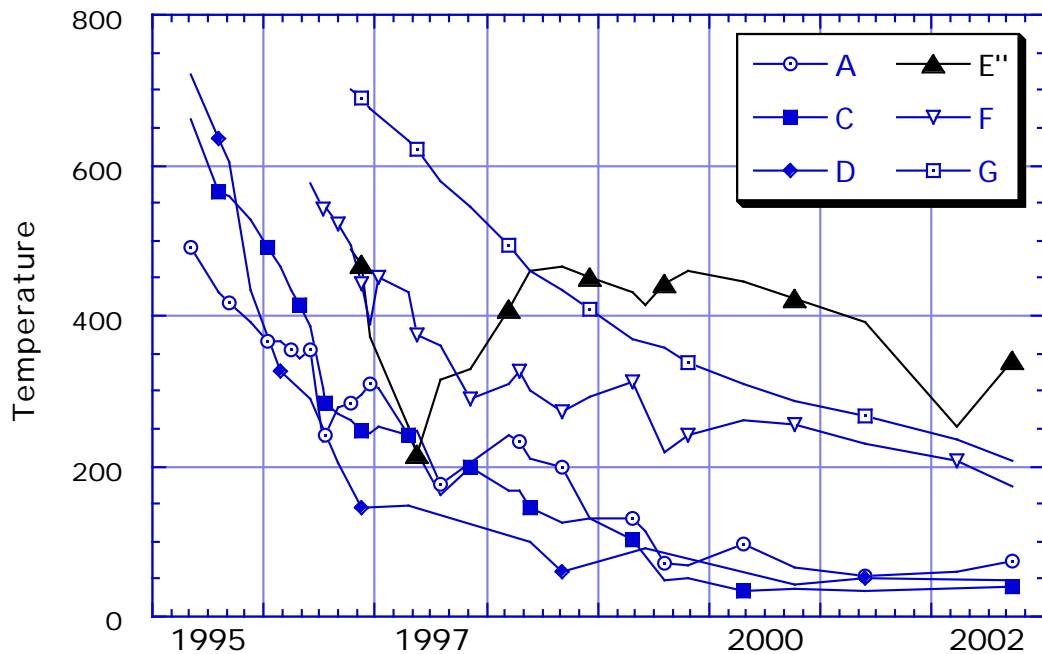


平成新山ドームの噴気ガス温度変化

九州大学地震火山観測研究センター



Temperature of Fumarolic Gas



噴気ガスの温度はほぼ順調に低下している．青白いガス（主に二酸化硫黄）や刺激臭のガスの量はしだいに減少している．

2002年9月20日測定での最高温度はE地点の摂氏342度であり，前回より上昇したが，測定誤差の範囲と考えられる

E点は地獄跡火口の直上に位置し，現在最も高温で強い刺激臭を伴っている．E噴気孔周囲にはモリブデン酸化物（モリブデンプルー）の付着が見られたが，最近はほとんど見られなくなった．